

羅針盤



2018年10月5日(金) 第61号

文化、宗教、信念が異なろうと、大切なのは苦しむ人々の命を救うこと。自分の国だけの平和はありえない。世界はつながっているのだから。 緒方 貞子(1927～、元国連難民高等弁務官(1991～2000))

『市政への提言 2018』分科会発表会を行いました。

「総合的な学習の時間」を活用し、郡山市と連携して行った『市政への提言』。約半年間の取り組みについて、10月3日(水)に分科会ごとに発表する場を設け、お互いの成果を交流しました。全部で61本の提言が発表されました。発表後には生徒同士で評価を行い、各分科会ごとの「代表提言」を決めました。選ばれた「代表提言」は、10月31日(水)の午後に行われる「提言発表会」の場で、17期生だけではなく、協力いただいた郡山市役所の各部署からも来校いただいて見ていただく予定です(裏面参照)。品川郡山市長様も見に行きたいと話されているそうです。当日は、「ふくしま教育週間」の授業参観日にもなっており、保護者の皆様にも是非見ていただきたいと考えております。



《 各分科会ごとの「代表提言」 》

(◎：班長、○：副班長、()はクラス)

- ☆第1分科会「都市計画」① 『How to advertise ～郡山のイベントを知ってもらおう～』
サトウの御班 (◎荒川灯夏(3), ○渡辺葵里乃(3), 川原也佳(1), 南條円香(3))
- ☆第1分科会「都市計画」② 『人が利用しやすい道づくり』
フライ班 (◎大崎琴美(7), ○本田真菜(7), 箭内鈴子(2), 田代彩乃(7), 本柳朱理(7))
- ☆第2分科会「教育」 『これからの英語教育について』
KITAHARA 班 (◎斎藤愛加(1), ○本田千遥(4), 荒木ほのか(1), 飯束真実(2), 橋本紗蘭(2))
- ☆第3分科会「生活環境」 『環境にやさしい郡山にしよう!』
生徒の模班 (◎横澤佑李(6), ○鈴木若葉(3), 橋本結(4), 中塚絢音(5), 大橋彩七(6), 鈴木萌(6))
- ☆第4分科会「農業」 『農業人口を増やすための提案』
ボールペン班 (◎角田帆乃香(4), ○荒川多香美(2), 吉田りな(3), 鈴木翔太(5), 下川司(7), 柳田紗希(8))
- ☆第5分科会「医療・福祉」 『障がい者が暮らしやすい街へ』
おば班 (◎高崎はる奈(5), ○山下凜(8), 齋藤萌々子(6), 安達明生(8))
- ☆第6分科会「商工業・観光」 『電車の利用者を増やすための提案』
ゴーゴー！トレイン班 (◎高橋千夏(3), ○二瓶裕香(3), 永田さくら(3), 石井花梨(4))
- ☆第7分科会「ICT」 『既存ICTの活用』
栗ご班 (◎太田夏未(6), ○國分晴花(8), 及川千遥(7), 新田憲司(7), 今井翼(8), 岡江智弘(8), 横山誠明(8))
- ☆第8分科会「スポーツ・芸術・文化」
『もっと楽しく！体を動かそう◎ スポーツによる健康の保持・増進』
どうそり～ぬ班 (◎鈴木優伽(1), ○吉田万柚子(3), 柏木レナ(3), 鈴木凜(5))

『市政への提言 2018』 提言発表会

- 1 期 日 平成30年10月31日（水）
- 2 時 間 13:05～15:55（5～7校時）
 ※13:30開会、15:35終了予定です。
 ※休憩をはさんで班ごとの発表を行い、その後、郡山市役所の職員の方々から講評をいただく予定です。
- 3 場 所 本校第一体育館
- 4 その他 当日は授業参観日にもなっています。ぜひ保護者の皆様にもご覧いただきたいと思います。なお、校地内の駐車はできませんので、お車での来校はご遠慮くださいますようお願いいたします。

10月	曜日	行 事 等	週末課題等の予定	朝学習
6日	土	夢ナビ・ライブin仙台(申込者)	国・数・英	
7日	日			
8日	月			
9日	火	40分授業日	国・数Ⅱ・英提出	英語
10日	水	修学旅行事前研修(6・7)		国語
11日	木		数B提出	総合
12日	金	6校時授業日		英語
13日	土			
14日	日			
15日	月			数学
16日	火	修学旅行結団式(4校時授業、午後放課)		英語
17日	水	修学旅行(1日目、広島)		
18日	木	修学旅行(2日目、奈良)		
19日	金	修学旅行(3日目、京都：班別)		
20日	土	修学旅行(4日目、京都：クラス別)		
21日	日			
22日	月	(10/20の代休日)		
23日	火			英語

- ◇修学旅行中の任意保険についての案内を配付しました。あくまでも任意による保険です。希望される場合は、10日(水)昼休みに、旅行者の方が窓口を設けて受け付けますので、「確認書」に必要事項を記入し、保険料をお子様に持参させてください。
- ◇いよいよ修学旅行です。初日の集合時間・出発時間がとても早くなっております。ご協力をよろしくお願い致します。

「先生、この細胞間違ってる!?!…」

以前同じ職場で働いた大先輩の理科の先生から聞いた話です。理科の実験で植物の細胞を顕微鏡で観察している時に、ある生徒が大きな声で言った言葉だそうです。顕微鏡で見た細胞が、教科書に載っている挿絵と違って見えるので言ったのだそうです。「教科書の絵が間違ってる」ではなく、「細胞が間違ってる」と言ったというのです。それ以来、実験を通じて実物を自分の目で見て、頭でしっかり考えることをいっそう意識するようになった、と話されていました。

ノーベル医学・生理学賞を、京都大学の本庶佑先生が受賞されました。本庶先生がインタビューで語っていた言葉が刺激的でしたね。中高生などを対象にした講演会でも、いつも話されていることのように。「教科書には必ず間違いがある。鵜呑みにせず、本当にそうなのか。なぜそうなるのか。自分で納得がいくまで調べ、考えることが大切なのです」最初に紹介したエピソードでは、その生徒にとっては教科書は絶対の存在だったのでしょう。疑問を大切にすること。徹底的に納得がいくまで考えること。それが発見や進歩につながるのです。(慶徳)